

新年のごあいさつ



大治町長
村上 昌生

あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年8月に町長に就任してからは、はや5カ月が過ぎようとしております。その間、生活を楽しむことができる「ライフタウン」の実現に向けて日々努力してまいりましたが、町民の皆様には温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は2020年の東京オリンピック開催決定や富士山の世界文化遺産への登録など、日本にとって喜ばしい話題とともに、経済状況にも明るい兆しが見え始めた年でありました。

本町におきましては、南海トラフ巨大地震やゲリラ豪雨等による水害に備え、衛星携帯電話を配備し非常時の通信手段の確保、家屋の倒壊から高齢者などの命を守るため新たに耐震シェルターの設置に対する補助、河川の整備促進、排水機の排水能力の向上、親子で2泊3日の避難所生活を体験する防災キャンプなど、さまざま

な防災・減災対策に力を入れてまいりました。

さらには、いざというときの確かな行動ができるように、避難勧告などの防災情報を始め、防犯情報、気象情報、行政情報をお手持ちの携帯電話やスマートフォンに素早くメールでお届けする「大治町メールサービス」を開始しました。

本年は、下水道や道路などの社会基盤整備の推進はもちろんのこと、最重要課題である防災対策については、海部地域の市町村との連携を強化する一方で、町内では自主防災組織が広がるように防災リーダーを養成し、地域の防災力を高めていきます。

また、子育て世代を応援するため、子育てに関する窓口を一本化した「子育て支援課」の新設、ファミリー・サポート・センターおよび子育てサポート相談員の設置、オープンな景観と潤いのある水辺空間を有効活用した庄内川河川敷の公園整備など、町民の皆様が安全で安心な暮らしができるように取り組んでまいります。

そして、来年の平成27年は昭和50年に町制を施行してから40周年の節目の年でありますので、本町のますますの発展を願い、町民の皆様がいつまでも健康で快適に住み続けることができるように、記念行事などを開催したいと考えております。

最後になりましたが、本年が町民の皆様にとって、素晴らしい一年となりますよう祈念いたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

平成26年元旦



新春を迎えて



愛知県知事
大村 秀章

あけましておめでとうございます。
県民の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと存じます。

昨年は、円高是正、デフレ脱却に向けた政策が進められ、景気が緩やかに回復に向かうなど、ようやく明るい兆しが見えた年でした。このような中で、日本一の産業県・愛知が我が国の産業経済を牽引していくという決意のもと、産業競争力の強化に全力で取り組んでまいりました。

今年も、こうした取組を一層発展させ、愛知の活力と豊かさを更に高めていくとともに、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催や、2027年のリニア中央新幹線の開業を視野に入れた地域づくりをしつかりと進めてまいります。

このため、産業空洞化対策減税基金による日本一の補助制度を活用した企業立地や研究開発に対する支援、航空宇宙や次世代自動車を始めとした次世代産業の育成・振興、民間の力を引き出す規制改革の実現など、産業力の革新的強化に全力で取り組んでまいります。

また、元氣な愛知の基盤となる人づくりとして、愛知の産業を支えるモノづくり人材の育成、世界を舞台に活躍するグローバル人材の育成などに取り組んでまいります。

さらに、利便性の高い交通体系の形成や、農業の高付加価値化、観光魅力のPR強化などにより、愛知の総合力を一段と高めてまいります。そして、女性の活躍推進・子育て支援や、障害者・高齢者福祉を始めとした福祉・医療の充実、交通安全、地震防災対策の強化はもとより、学術、スポーツ、文化、芸術面の魅力向上に取り組む、住みやすく、住んでいて楽しい地域づくりにも力を注いでまいります。

また今年秋には、「ESDに関するユネスコ世界会議」、「技能五輪全国大会・全国アビリンピック」が開催されます。地域が一丸となつて成功に導き、愛知の魅力を全国・世界に向けて発信してまいります。

これらの取組を通じて、「日本一元氣な愛知」と豊かさを実感できる県民生活の実現を目指してまいりますと考えておりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成26年元旦

